

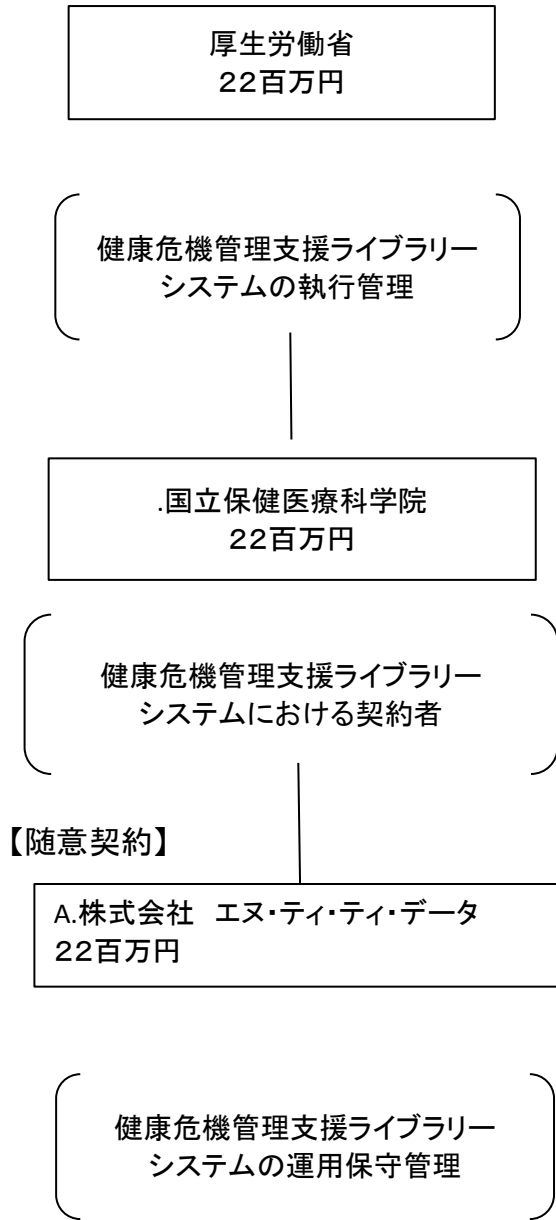
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	健康危機管理支援ライブラリーシステム事業費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度	担当課室	がん対策・健康増進課地域保健室	政田 敏裕			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-8 健康危機管理体制を整備する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安心・安全な国民生活のため、広く国民に健康危機に関する良質な情報を提供する。また、地域における健康危機管理について、健康危機発生前、発生後の各時期において必要とされる様々な情報を保健所、地方自治体、地方衛生研究所、検疫所等の職員等に対して提供する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域における健康危機管理について、健康危機管理の意志決定、対応等をサポートするために健康危機発生前、発生後の各時期において必要とされる様々な情報を提供するためのシステムの管理・運営を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	43	35	35	35	35
		補正予算					
		繰越し等					
		計	43	35	35	35	35
		執行額	43	35	22		
	執行率(%)	100	100	63			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	健康危機管理支援ライブラリーシステムへのアクセス件数	成果実績		4,990,325	3,764,487	255,619	対前年度
		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	健康危機管理支援ライブラリーシステムへのアクセス件数	活動実績 (当初見込み)		4,990,325	3,764,487	255,619	-
				-	()	()	()
単位当たりコスト	86 (円/成果実績)	算出根拠	平成23年度執行額/平成23年度健康危機管理支援ライブラリーシステムへのアクセス件数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.1	0.1				
	委員等旅費	0.1	0.1				
	社会保障関係情報化業務庁費	34.7	34.7				
	計	35	35				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域における健康危機管理について、健康危機発生前、発生後の各時期において必要とされる様々な情報を提供することができる国民のニーズ、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	健康危機発生前、発生後の各時期において必要とされる様々な情報を提供できるのは、国である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	システムの運用・保守の他に改修を予定していたが、東日本大震災の影響により改修計画が立てられず、不用が生じた。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により選定されている。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	健康危機管理支援ライブラリーシステムの会員数が減ったことでアクセス件数が減り、単位当たりのコストは前年度より上がっているが、また徐々にライブラリーシステムの会員数が上昇していることから、コスト削減に努めているところである。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	健康危機管理支援ライブラリーシステムにおける運用・保守のために必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	健康危機管理支援ライブラリーシステムの会員数が減ったことでアクセス件数が減ったが、また徐々にライブラリーシステムの会員数が上昇しているところである。
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	健康危機管理支援ライブラリーシステムの会員数が減ったことでアクセス件数が減ったが、また徐々にライブラリーシステムの会員数が上昇しているところから、活動実績をあげていると考えられる。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	健康危機管理支援ライブラリーシステムのアクセス数を考慮し、十分に活用していると言える。
点検結果	<p>本事業は、安心・安全な国民生活のため、広く国民に健康危機に関する良質な情報を提供することを目的としたシステム運用経費であり、システムへのアクセス件数を考慮し、引き続き実施すべきものと判断。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業については、22年度においては特殊事情により不用額が生じているものの、保健所を中核とした危機管理体制の構築等に必要な経費であり、事業内容及び予算規模を維持すべきであるが、引き続き、効率的な予算執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	324	平成23年行政事業レビュー	0294

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



A.株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
運用費	ハードウェア及びネットワーク等の運用	22			
計		22	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	ハードウェア及びネットワーク等の運用保守管理	22	3	33.3